

平成 29 年度

宮 田 村 教 育 委 員 会 8 月 定 例 会 々 議 録

1 開催日時：平成 29 年 8 月 25 日(木) 13：30～16：00

2 開催場所：村民会館 第 1 研修室

3 出席委員

- (1) 篠田 秀児 委員長（以下「委員長」と表記。）
- (2) 鷹野 綾子 委員長職務代理者（以下「職務代理」と表記。）
- (3) 古藤 祐巳子 委員（以下「古藤委員」と表記。）
- (4) 伊藤 一幸 委員（以下「伊藤委員」と表記。）
- (5) 平澤 武司 教育長（以下「教育長」と表記。）

4 欠席委員：なし

5 その他、会議に出席した者の氏名

- (1) 本田 秀樹 教育次長（以下「次長」と表記。）
- (2) 北原 敦 学校係長（以下「学校係長」と表記。）
- (3) 平澤 義章 子育て支援係長（以下「子育て係長」と表記。）
- (4) 本田 留美 生涯学習係長（以下「生涯係長」と表記。）

6 教育委員長あいさつ

委員長：残暑厳しい中ご苦労様です。今日もよろしく申し上げます。

7 会議録の承認 7 月定例会（事前配布）

8 議 題

(1) 報 告

報告 1 号 教育委員会活動報告について 7～8 月 (1 ページ)

次 長：資料について説明

委 員 長：よろしいですか。

委 員：了解。

報告 2 号 9 月議会提出案件について (2～9 ページ)

子育て係長：資料について説明

輝く子育て応援事業について。4/1 から子育てファミリー転入奨励金を新設したが、制度

が決まったのが年度末で当初の予算に乗せられなかった。5 人分の補正をお願いしたい。子育て支援センターの運営事業について。遊戯室と廊下の床面の損傷が激しくなっている。ささくれで怪我が心配されるので、工事費として 389 千円補正をお願いしたい。

学校係長：小学校施設・設備整備事業について。分電盤工事で安全管理上、メーカー指定の部品になったため 290 千円補正。白心寺と小学校の境のフェンス設置工事が平成 26 年途中で止まっており、危ないので残り 30m のフェンスの工事代として 1750 千円補正。

中学校保健教育事業について。心の相談員の通勤手当不足分と歯のブラッシングを指導する歯科衛生士の交通費で合計 18 千円を補正したい。

中学校教育振興事務について。中体連・水泳部県大会における 14 名の宿泊費補助と、県大会出場の陸上部 6 名の宿泊費・交通費補助合わせて 174 千円の補正。

中学校学校管理について。進路指導専用パソコン購入の希望があり、情報関係は本来みらい創造課の担当であるところ、教育委員会で 120 千円補正となった。

次 長：学校と寺の間に段差があり一部は 3 年ほど前に擁壁とフェンスを作ったが、フェンスが低いので子どもが落ちてしまうと学校から要望が出たため、その続きをやる。工事が終われば、体育館のところから道路までつながる

職務代理：ブラッシング指導は一年に一度ですか。

学校係長：今年から始まった。宮田中学校生徒の歯周病の確率が高いことからブラッシング指導の必要性を歯科医師から言われ、中学校の取り組みとして上伊那の公衆衛生に職員を派遣してもらうことになった。小学校では年度末にひと学年だけ『リズムで歯磨きしましょう』に取り組み、今年度も予定している。

委員 長：歯周病がそんなに多いのか。

学校係長：極端に多くはないが可能性が高い児童が多い。県の平均ほど多くはないが郡内で高め。

生涯係長：村民会館管理事務について。外の時計が故障したが、部品がないため時計部分を取り換える。現在、時計盤は両面だが片面にし、350 千円を補正。村民会館 1 階の女子トイレが壊れているものを修理し、これを機にシャワー便座に取り換え、540 千円補正。当初計画していたエレベーターの工事費はメーカー当初予定 3845 千円だったのに、実際に出てきた価格は 1550 万円で大幅値下げになったため、マイナス 2295 千円の補正。

体育施設管理事業について。宮田球場照明設備の漏電が判明したので安定器の取り換えで 478 千円、文化会館の AED のバッテリーがなくなったが、合うバッテリーがないため新規に 2 台をリースとし 98 千円補正。1 台は行事の際に貸し出す。つつじが丘グラウンドでボールが住民家屋を破損したので補償金に 100 千円補正。

文化財保護事業について。文化財保護審議会の非常勤職員報酬として 6 人分 4 回で 48 千円補正。寄贈品運搬・整理運搬に 1 時間千円で 3 人分 10 回分で 90 千円計上。これは向山先生宅のものを文化会館へ運ぶ作業が主となる。委託料として歴史的建造物調査委託に 2 万円×5 件、宮田宿調査準備費は、来年度から本格化する事業の基礎資料作成のため 2 万円×3 人×5 回分 300 千円の補正。寄贈品鑑定費について、掛け軸 150 本～200 本の中から 50 本に厳選したものを 1 本 1 万円で 500 千円計上。

委員長：これ以上予算はとれないのか。トイレは感知式の照明がいいと思うが。

教育長：一気にはいかないが、そういう意見もいただしておく。

古藤委員：女子トイレの全部を変えるのか。

生涯係長：和式はそのまま。暖房が効いている洋式の一台だけを練習室横のトイレに移して、1階の広いトイレだけシャワートイレに変える予定。

伊藤委員：外の時計は落雷で壊れたのではないか

生涯係長：落雷ではなく、時間が狂って直らなくなった。

伊藤委員：時計の裏面はいらぬというのはどうしてか。

教育長：両面では値段が高すぎるから。裏面なしというのは妥協の産物。

古藤委員：文化財寄贈品鑑定費の鑑定は専門の鑑定士さんにみてもらうのか。

教育長：そう。あるお宅が書画骨董を寄付してくれたので専門の方に見てもらう。寄付でなければそこまではやらない。村内には、寄付する前に見てくれないかというお宅がある。それについては各自でやってもらいたい。

伊藤委員：鑑定して価値がなくても50万円払うのか。

生涯係長：はい。計上したのは、実際にいただいた200本近くの中から選んだ50本分。

伊藤委員：公費を使うのだから、きれいに仕分けをしないと自分も見てくれという話になる。

次長：向山先生の寄贈分は整理して要るものだけ持ってくるが、それだけでも膨大。ほしい人は全部ほしいと思うかもしれないが、なかなか難しい。

委員長：インターネットで公開してはどうか。

伊藤委員：それも時間がかかる。

教育長：とても職員一人ではやりきれず文化財審議委員6名も一緒に見てもらっている。その分で非常勤の報酬と考えている。

伊藤委員：基本的にこういうのは毎年一定の額を用意し、コンスタントに村内のものを見ていかないと、対応できなくなりバランスが取れなくなるのではないか。

教育長：そういうガイドラインがないので、文化財審議委員会を開いて、村内の文化財に関して今後どうしていくか検討して答申してもらう。それを最終的に教育委員会で決める。今後増えると思われるし、相続にかかわる話も聞こえてくる。

伊藤委員：古い物だけでなく太平洋戦争中の遺産をどうするかも気になる。

子育て係長：4月1日に改正した『輝く子育て応援条例』について。昨年までは9歳以下の子どもがいる家庭に対し、5年間固定資産税を一度払っていただき年度末にお返しするという条例で、3年間は子どもがいなくても様子を見て、子が生まれればそこから5年間という制度だった。引っ越してきた人たちをずっとチェックするのが大変だったので、今回変えることになった。この制度が開始してまだ4、5年しかたっていないが、今後10年20年と人数が増えてずっと見ていくのは大変なので、夫婦合わせて80歳というラインを引いた。今年度から80歳以下の夫婦であれば子どもがいなくても対象にする制度にした。それで網羅できていると思っていたら、7月に「二人で80歳を超えているが、子がいて宮田に家を建てたい。対象にはならないのか」と問い合わせがあった。宮田に住んでくださる方を対象外

にできてしまっていたので、80歳を超えていても9歳以下の子がいれば対象になるように改正した。

宮田村認可外保育施設児童対策事業補助金交付要綱の一部改正について、国の制度が変わったのに合わせ村の要綱も変えた。

伊藤委員：80歳に意味があるのか。

子育係長：子供を作っていただけであろう年齢とした。駒ヶ根市も80歳でやっていた。

伊藤委員：高齢出産が増えているので、80歳と書かない方がすっきりしていいと思う。要は現在9歳以下の子がいる人とこれから子ができる人、と書けば年齢は関係ないという気がする。

子育係長：この制度は村外から村内に引っ越して住宅を建てた方たち、というのが前提。子世代の増加を狙っているのに、年齢枠がなくなるとだれでも対象になってしまう。

次長：同じ名前でも制度が二つある。村外から転入して家を建てれば80歳以下の人は子がいなくても固定資産税を5年間免除する。80歳以上でも9歳以下の子がいれば一時金として20万円を渡す。

教育長：図式化して村民にお知らせした方がよい。

職務代理：時々年齢を見直していくのが良いかもしれない。

委員長：よろしいですか。

委員：了解。

報告3号 南部市町村教育委員会連絡協議会視察研修について (10～11 ページ)

次長：資料について説明

委員長：よろしいですか。

委員：了解。

報告4号 ふれあい広場物品販売について

次長：宮田観光開発と地域おこし協力隊の今堀さんから物品販売の許可申請が出ていたが、今堀さんについては個人なのか地域おこし協力隊としてやるのかという話になっていた。確認したところ、個人としてではなく地域おこし協力隊の本来の仕事として村の活性化を図るために特産物を販売したいという回答があった。一緒にやるのではなく別々で販売する。

職務代理：最初の申請書に違う名前があったがそれは無くなるということか。

次長：はい、あくまでも地域おこし協力隊ということで。

古藤委員：いつからですか。

次長：教育委員会を通して議会に説明しなければいけないのでその後になる。全員協議会の報告事項としてまとめて物販について報告したい。村には、商工会も含めてスペースを区切って特産品販売したいという計画が出ているようだ。うちに個々に出されても判断が付かないので村で限定してほしいとあってある。まだ計画ははっきりしていないようだが。

職務代理：ふれあい広場に毎週売店がいっぱい出るのはいいのでしょうか。

次長：意見として上げておきます。

教 育 長：地域おこし協力隊が本当に協力隊としてやるなら、改善した書類をここに早く出してもらわないと、ここで認めないものを議会に出すわけにはいかない。

次 長：委員さんには持ち回りで意見を書いていただいて回ってよろしいですか。

委 員 長：本来は広場を貸すのに教育委員会が認可をするのか。

教 育 長：村の財産なので最終認可は村長がする。教育委員会は管理しているだけ。

委 員 長：管理上の問題として物販販売所が二つ建つのはどうかという議論をした。小屋を提案した二つの組織が、本来村の組織に関係するから話し合いをというところまで行った。話し合いの結果がどうなったか。

次 長：同じものは出さないで、常に連絡して別々にやりたいということになった。

教 育 長：協力隊なら村の振興のためにやることははっきりしないと許可できない。

次 長：すべて宮田産のものを使うと確認した。

職務代理：協力隊は建物ではなく販売車で売ることか。

次 長：当面はテントの下で販売する。みやさん号の使い道がはっきりしない。みやさん号は村で買っているが、村人テラスに運営を委託している。

職務代理：村人テラスは地域おこし協力隊の人たちがいっぱいいる。

次 長：法人が運営しているが運営がはっきりしない面もある。

委 員 長：どこのことかわからない。

次 長：以前、手芸屋さんがあり空き家になったところを村で買い改修して無償で貸し出しているが、法人を立ち上げた人たちが運営している。

職務代理：物販の許可を出して、他の人たちが多く来るようになって困るかなと思う

次 長：今のところ第3セクターの観光開発と地域おこし協力隊で村の発展を条件にして、後は断るようになっていく。議会までには委員さん方全員に提出して意見を伺うようにします。

伊藤委員：村の役立つようにするのが普通なのに、第3セクターと地域おこし協力隊が別々では話が進まない。これではコメントできない。うまく使っている市町村は活性化している。

教 育 長：地域おこし協力隊は地域が活性化するため多方面で研究すべきだ、計画をたて直して出してもらいたい、ということは言っているのではないかと。

委 員 長：よろしいですか。

委 員：了解。

## 9 その他

(1) 当面の日程について 8～9月 (12 ページ)

次 長：資料について説明

(2) 成人式の反省について (13～16 ページ)

生涯係長：成人式に出席いただきありがとうございました。

アンケートの結果について報告。新成人 113 名のうち 89 人が出席し、84 名がアンケートに

答え、概ね「良かった」という回答だった。開催日と会場変更希望者はわずかにあった。

来年も3月に実行委員会を立ち上げて実行する予定で、アンケート結果を参考にしたい。

委員長：全体としては良い式になった。せっかく良い内容だったのにマイクの不調が残念だった。

生涯係長：確かにマイクの調子が悪く、アトラクションが聞き取りにくかったことをお詫びしたい。

委員長：結構いろんな行事でマイクの不調があるので気を付けた方が良さそう。子どもたちは元気で良かった。

伊藤委員：参加者は結婚式同様の服なので、給食のメニューは配慮が必要と思う。

生涯係長：メニューは実行委員が自分たちで決めている。

職務代理：一般のアンケートで校歌を希望する人がいたので、宮田はやっぱ一校一校なのだと思います。卒業生だけのものになっている。ランチルームで給食を食べ懐かしがるのは卒業生だけ。成人は卒業生だけではないと言うと、「卒業生以外は来ないから」と言われる。それは間違いだと私は思う。同窓会成人式ではない。村の成人式だから村の二十歳みんなを対象にしなければいけない。企画するのは卒業生なので、他の人のことは考えていないと村外から来た人は思う。

委員長：卒業生以外はどれくらいいるか。

生涯係長：7～8人くらいだが、出席していない。

伊藤委員：もし、転勤族の私だったら中学の式にはいかない。村民会館でというのがまともな意見。

古藤委員：アトラクション自体も卒業生に向けになっている。

委員長：難しいかもしれないが、実行委員会に教育委員会でこんな話があったと投げかけては。

生涯係長：実行委員会の時に、「こんな意見もあるのでそれも含め考えてほしい」と伝えたい。

教育長：私が来たとき、お盆休みに学校を借りて成人式を行うというのは、ちょっと感じた。

以前、会場について審議した経過がある。本当にやるなら実行委員会を立ち上げる段階でやらないと。

職務代理：宮田は学校で給食を食べるのが恒例のように思われているが、そんなことはなく以前は村民会館でもやっていた。

委員長：本当は、村だから役場でやった方が良さそう。いろんな意味で曖昧。

教育長：今年来なかった人のアンケートはとっていないので、出なかった人の声を聞いてはどうか。外国籍の人が多いいのではないかな。

職務代理：外国籍の人も村の成人式なので出席していただければいい。式が卒業生対象のようでは行かなくてもいいかな、となる。職場の方は、成人式がそんな感じなら出してあげられない、というのもあると思う。

委員長：グローバルズ的に考えるか日本人的に考えるか。

職務代理：そうではなく、卒業生かそれ以外かです。みんなが出やすいようにしていただきたい。

教育長：初めからそうでなくちゃいけないのは事実。

委員長：広く考えていかなければいけない。よろしいですか。

委員：了解。

(3) ふれあい広場アンケートについて (17～25 ページ)

生涯係長：ふれあい広場施設利用者を対象に満足度を調査した。今後の運営に役立てたい。シルバー人材センターの協力で、7/13～8/10に来た人にアンケートを取り91人から回収した。「満足」「やや満足」が93.4%。大部分の方が今のふれあい広場に満足しているが、「自動販売機が必要」という回答も65.9%あった。他に「ハチが多い」という意見があったので、指定管理につないでハチの駆除を行いたい。

委員長：自販機で稼ごうとは思わないのか。

生涯係長：これまでも自販機の話があったが、ゴミの問題があって設置してこなかった。

職務代理：自販機やゴミ箱のない運営は良いという意見もある。

古藤委員：今度物販を始めるが、ゴミ箱は置かないでお店を出すのか。

生涯係長：その方たちの責任でゴミ箱を設置する。終わった後公園内を見回り、自分たちで出したゴミは回収するという答えをいただいている。

伊藤委員：遊具で、危ないから撤去するという動きが全国的だが、宮田はどう考えるか。

生涯係長：年に1回遊具の点検をしている。年数が経過し、修理が必要なものも出てきている。

伊藤委員：滑り台のザブトンで傷んでいるのが気になった。

古藤委員：ターザンロープの柱がぐらついているのが気になるので、至急対応をお願いしたい。

委員長：これは担当係で論議しているのか。事故が起きたら大変なので気を付けていただきたい。

生涯係長：論議しており、点検で不備のあるものは予算が付き次第、修理・改善している。

伊藤委員：アンケートに、木に名前を付けてほしいという意見があるが、やるならお手伝いする。私が名札をつけても面白くないので、小学校や学童と組んでやれば良いと思う。小学生が担当になるように、ひとひねりしないと。

次 長：ご協力をお願いします。

委員長：よろしいですか。

委 員：了解。

(4) 文化祭について

生涯係長：昨年、体育センターが工事中だったので文化祭を村民会館一か所で行った。それについてアンケートをとったところ、「一か所で時間の無駄がなくて良かった」、芸能発表の方も「間に作品展を見られてよかった」など良かったという意見が多かった。今年はどうするか、発表・展示する団体に9月にアンケートをとった。村民会館63%、体育館37%で村民会館が多かった。事務局は今年も村民会館で行う方向を出し、8/21に作品の団体に説明し、村民会館で開くことに決まった。8/31芸能発表予備会議、9/26全体会議を予定。

委員長：よろしいですね。

委 員：了解。

(子育てアンケートについて)

子育て係長：全体の回答数は319枚で回答率は61.8%。全体では二世帯一戸建てで若い夫婦が多い

傾向が見られた。現在のお子さんの人数は2人が一番多かったが、理想の人数は2人よりも3人がわずかながら多かった。Q20で子育て支援策について「知っている」「評価できる」「人口施策として有効」かを聞いた。保育料助成事業などは皆さん知っているが、お金がかかっている割には「評価できる」が少なく「有効」はぐっと減っている。いろんな施策をしても皆さんは結構知らない。もっと情報を発信しなければいけないと感じた。宮田村に住み続けたいかと聞いたところ「住み続けたい」が82%。Q17で子育てしやすさについて聞いたところ、「とてもいい」「どちらかと言えばいい」で合わせて80%以上の評価をいただき、方向性は間違っていないと感じた。これを参考に来年度の施策を検討したい。後日、記述部分もまとめてお渡しする。

教 育 長：非常に苦労して一つの結果が得られた。次回は教育に関するものも入れていかなくてはいけない。

職務代理：保育園のチャイルドシートの装着率はどうなっているか。

子育て係長：あれから少し下がって、保育園から警察に言ってほしいという意見が出たが、実際に警察に頼むと警察は見て見ぬ振りはできないという話になってやめた。

子育て係長：保護者会でもやっているがなかなか向上しない。朝は忙しいので装着率が低くなる。

午後やった東保育園は70%だったので、午後なら西保育園も装着率は高くなると思う。

教 育 長：子どもの命を守るために朝の装着率を上げることが大事。教育委員会が呼びかけてはどうか。毎月装着推進日を決めて、3か月に1回くらい我々が早く行って呼びかけてもいいと思う。

職務代理：交通安全協会に呼びかけて一緒にやるのもいいと思う。

委 員 長：いろいろ工夫をお願いします。よろしいですか。

委 員：了解。

委 員 長：本日はご苦労様でした。

・次回定例会：9月28日(木) 13時30分 村民会館 第1研修室